

県立博物館企画展紹介 ～企画展「そうだったのか！霧島山」～

企画展について



【企画展リーフレット】

令和5年3月25日（土）から6月4日（日）まで、博物館本館1階企画展示室で企画展「そうだったのか！霧島山」を開催します。標高1700mの韓国岳を主峰とする霧島山は四季折々の美しい表情を見せてくれます。この企画展では、普段何気なく眺めたり、歩いたりしている霧島山の知られざる魅力を紹介しています。

見どころ①「植物と昆虫の関わり」



【ハナカズラ】

霧島山には、たくさんの植物が生育しています。5月から6月に咲き誇るミヤマキリシマや霧島山だけに生育するノカイドウは特に有名です。また、湧水町とえびの市にまたがる草原地帯にも希少な植物が見られます。トリカブトの仲間であるハナカズラは、小鳥が頭からかぶれ

そうな、変わった形の花を付けます。この形はマルハナバチの仲間に花粉を運んでもらうために進化したものです。また、7月から8月頃に草原を彩るユウスゲは、夕方に咲き始め、翌日の午前中には花がしぼみます。これは、花粉を運ぶスズメガの仲間の行動時間に開花時間帯を合わせているからです。会場では植物のレプリカと昆虫の標本をあわせて展示していますので、植物と昆虫の関わりについても触れてみましょう。

見どころ②「火山帯特有の峡谷と滝」

霧島山は現在も活発に活動を続けている火山です。山腹には流れ出した溶岩が長い年月で侵食された深い峡谷が見られます。また、火山成分を含んだ水は、川や滝を青や金色に染めて素晴らしい景観を作っています。会場では、他では目にすることのできない、自然の造形や色彩について、写真パネルや映像等で紹介しています。



【火山成分で黄金に染まる滝】

見どころ③「美しい蝶『ゼフィルス』」

霧島山には通称「ゼフィルス」と呼ばれる小さなシジミチョウの仲間が数種類生息しています。この蝶は美しい光沢を持つことで有名です。これは、翅の表面を微細な凹凸のある鱗片が覆っており、光を反射することによって生じる輝きです。この美しい輝きを放つ霧島山の「ゼフィルス」を展示していますので、ぜひ実物を確かめに来てください。



【美しい光沢のあるキリシマミドリシジミ】